

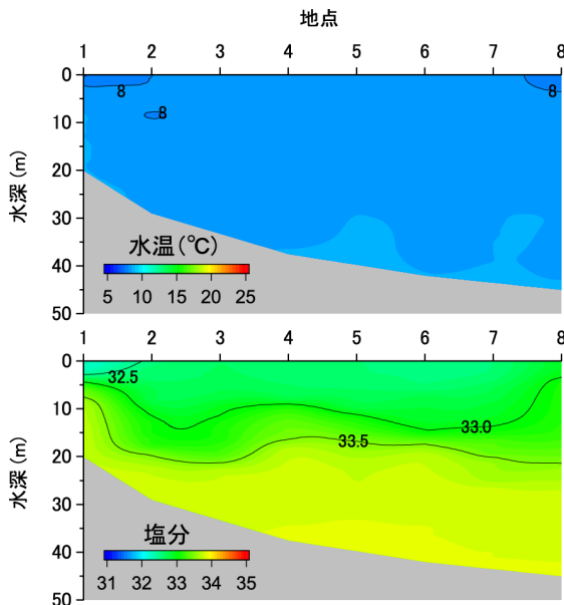
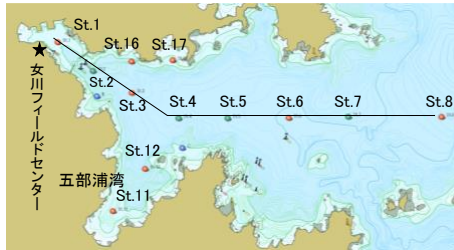
# 女川湾定期観測情報 (3月)

発行：東北大学マリンサイエンス復興支援室

## 女川湾の海況 (2020年3月18日)

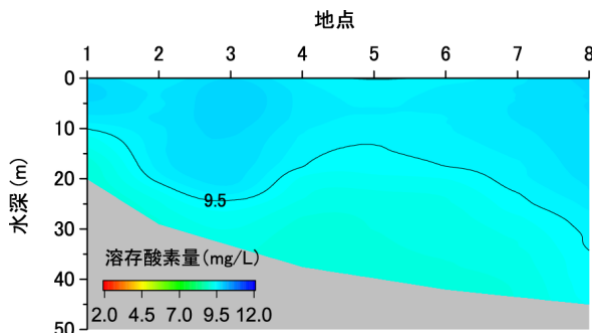
### ① 水温・塩分

水温は7.8～8.5℃の範囲にあり、過去5年間と比較して平均で0.6℃高かった。塩分は32.3～33.9の範囲にあった。水温はほぼ一様だが、表層でやや低く、底層ほど高くなる傾向にあった。塩分は表層で低く、底層ほど高くなる傾向にあった。



### ② 溶存酸素量 (酸素飽和度)

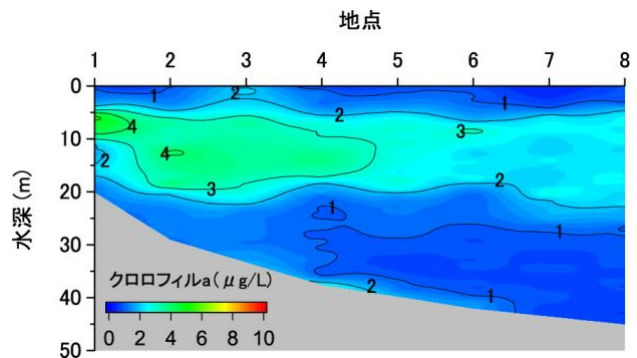
9.1～9.9 mg/L (96.8～103.6%) の範囲にあった。底層でやや低くなる傾向にあった。



※水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値) : 4.3mg/L 以上

### ③ クロロフィル a

0.3～5.7 μg/L の範囲にあった。水深5～20mの中層で高い値を示した。



※クロロフィル量 (μg/L) の目安

1以下	少ない
1～3	普通
3～5	多い
5～10	かなり多い
10以上	非常に多い(赤潮状態)

広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター  
ホームページより

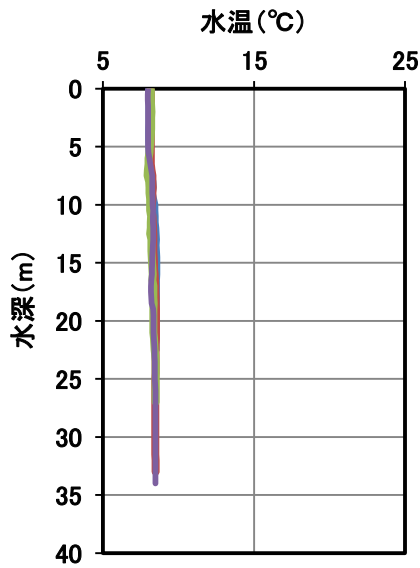
### ④ 定点の水温、塩分、溶存酸素等の数値データ

地点	深度 [m]	水温 [°C]	塩分	溶存酸素量 [mg/L]	クロロフィルa [μg/L]
1	5	8.3	33.2	9.8	4.3
	15	8.5	33.7	9.2	2.1
3	5	8.2	32.7	9.9	2.6
	15	8.3	33.1	9.8	3.6
	25	8.5	33.8	9.5	1.3
5	5	8.1	32.6	9.6	2.1
	15	8.3	33.3	9.5	2.8
	25	8.5	33.7	9.2	1.1

# 養殖場の水質環境 (2020年3月17日)

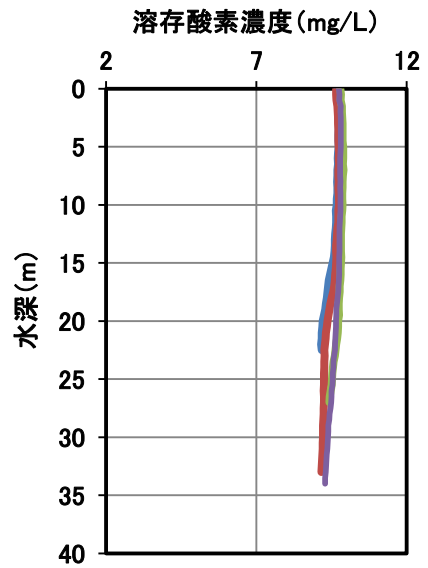
## ①水温

7.9~8.5℃の範囲にあった。いずれの地点でも鉛直的にほぼ変化はなかった。



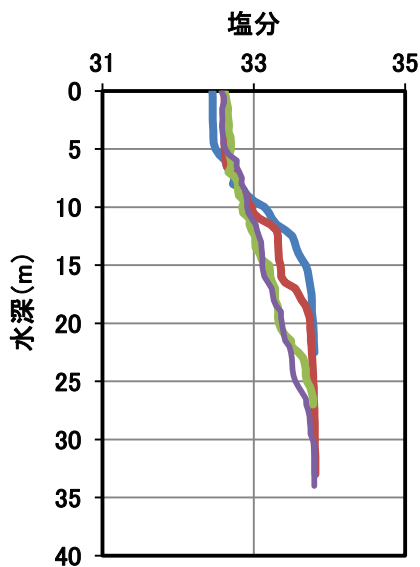
## ③溶存酸素

9.2~9.9mg/Lの範囲にあった。いずれの地点も底層でわずかに低くなる傾向にあった。



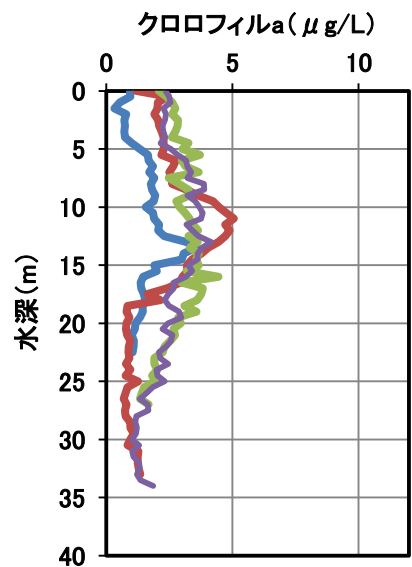
## ②塩分

32.5~33.8の範囲にあった。表層で低く、底層で高くなる傾向にあった。



## ④クロロフィルa

0.3~5.1μg/Lの範囲にあった。いずれの地点でも水深5~20mの中層で高い値を示した。



本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室  
E-mail: agr-marin@grp.tohoku.ac.jp  
までお問い合わせください。